

議 事 録	
会 議 名	令和6年度 第1回 教育課程編成委員会
日 時	令和6年10月28日（月） 15:00～17:00
場 所	中央工学校OSAKA 1号館 31・32教室
参 加 者	[委 員] (敬称略) 田鍋 稔、金沢 ちかこ、田中 由之 [関係職員] 中村 聖吾、原 充介、中島 征治（司会） 檜崎 悟志、諸岡 邦行、平上 秀明、篠崎 潤一 太田 育子、豊田 昌代（記録）、谷村 友紀奈（写真）
内 容	1. 令和6年度 第1回 教育課程編成委員会 司会の中島職員の開会宣言により、教育課程編成委員会が始まった。 2. 学校長挨拶 中村校長より、職業専門実践課程の枠組みで行われる委員会の開催趣旨と、本校の現状について報告があった。 ・4月9日(火) 入学式を実施し、令和6年度がスタート。 ・4月23日(火)～27日(土) 新入生軽井沢研修を2グループで実施（2泊3日）。 研修所は人間涵養教育を体現している施設であると説明。 ・5月9日(木) 卒業学年を対象に求人企業の42社が協力のもと、合同企業説明会を実施。 ・6月14日(金) 軽井沢研修のフォローアップとして、万博記念公園迎賓館でテーブルマナー研修を実施。 ・7月25日(木)～30日(火) 前期試験を実施。 8月1日(木)～31日(土) 研究科を除く3学科は夏季休暇。 ・9月2日(月) 夏季休暇終了後の授業を再開。前期試験の返却と解説、課題提出を実施。 ・9月10日(火)～13日(金) 前期追試試験の実施。

- ・9月25日(水) 前期成績会議を開催し、前期を終了。
後期は、10月1日(火)より通常授業を開始。
- ・9月30日(月)～10月4日(金) 建築施工実習(学内)
(建築学科・住宅デザイン科1年生)
- ・10月26日(土)～27日(日)「生きた建築ミュージアム」に参加し、1号館を一般公開、学生作品展を実施。
- ・7月7日(日) 二級建築士学科試験を実施。
- ・今年度の転科について、建築学科1名が住宅デザイン科へ、住宅デザイン科3名がインテリアデザイン科へ転科した。
- ・4月以降入職の職員を紹介。

その他、配布資料の確認が中島職員より行われた。

3. 各学科の教育について(教務部長 原 充介より)

・教育基本方針

建築系教員業務の効率化を図り、教育内容と教育環境を改善。

教員はセミナーや講演会に参加し、最新情報を学生に還元。

自己研鑽を推奨し、東京校と合同の模擬授業を実施。

カリキュラム変更(令和7年度予定)に向けて、質の高い授業の提供を目指している。

・進路指導

学級担任と職員間での情報共有を徹底し、就職活動の早期化、

企業説明会の実施、研究科への進学促進などを進める。

・運営について

- ・専任教員確保や1クラス1担任制を目標に募集活動を継続し、特に施工系教員の確保を優先。

・イベント・研修(平上職員より)

研修プログラムとして、軽井沢研修、民家集落見学、マナー研修、建築施工実習、文化イベント(生きた建築ミュージアム参加)

11月22日(金)にスポーツ大会(バレーボール)を予定。

11月5日(火)～8日(金)国内建築研修(研究科)予定。

	・コンペ入賞者の増加を目指す（篠崎職員より） ・デコルームデザインコンペ：民間企業と学校が連携し、各学科2年生が授業内で取り組む課題として制作。 ・WID/WIN INTERIOR WEEK2023：インテリア学科の学生がプレゼンテーションを行い、優秀賞を受賞。 ・学生デザインコンペ「主張するmise」：今年も参加予定。授業内で週2回取り組み11月末に応募予定。 ・マロニエ BIM コンペ：昨年に続き今年も学生有志のグループで参加中。 ・BIM 教育の質の向上 令和7年度より資格対策として BIM 教育の一環として BIM 検定試験のサポート開始予定。 ・環境教育の成果と発展（平上職員より） SDG s を意識した教育課題に力を入れる。 ・発展科目（選択科目）の脱落者問題 令和7年度より、選択科目を必修科目とし、脱落者を減らす。 資格対策科目をカリキュラムから外し講座形式で実施予定。 ・演習科目における出席率向上 演習科目の出席不足者に対し、補習課題の提出をもって出席不足を補っているが、今年度より補習課題に対し補習料を徴収し、出席率の改善を図る。 ・休退学の防止 前期退学者数：令和5年度より増加。精神的な問題を抱えている学生が多く、対策として、担任との面談や指導でサポートを継続。 ・一級建築士受験サポートについて 研究科における一級建築士の受験サポートを今年度も実施予定であったが今年度は対象者なし。 ・カリキュラム等の変更について 令和6年度は令和5年度からの変更なし。
--	--

	令和 7 年度に選択科目を必修に変更する。 ・住宅デザイン科の CAD ソフト使用について Architrend: 利用状況を鑑み、教材としての採用を見送り、Archicad に戻す。 ・授業及び教室・施設（原 充介教務部長より） 教室設置 PC: 各教室にノート PC2 台、カメラ 1 台を常時設置。 配信: 必要な場合は GoogleMeet を使用。 施設設備改善: 建築系職員室のレイアウト変更と 1 号館の照明 LED 化を実施。 ・資格取得について（太田職員より） 資格講座: 令和 7 年度から講座にて対策強化予定。 ・選択コースについて（原 充介教務部長より） 設備コース: 希望者 1 名のため開講せず。 ・就職率 令和 2 年以降、95%以上の就職内定率を継続。 ・その他 クラブ活動: 参加者が減少しているため、今年度は実施していないが、学生が集まりやすい環境を作り、広く告知を行い、希望者が集まるよう活性化を図る。 ・インフォクリッパーによる出席管理と GoogleClassroom の活用: 教員業務の軽減・効率化を推進。 4. 前期課題作品の視察 建築系 3 学科 1 年生の作品を平上職員が、建築学科 2 年生の作品を篠崎職員が、住宅デザイン科 2 年生の作品を豊田職員が、インテリアデザイン科 2 年生の作品を太田職員がそれぞれ説明した。
--	---

5. 意見交換

【田鍋 稔委員】

- ・基本方針が明確で、学生の個性を尊重した指導の重要性を感じた。多様化する社会で学生が「自分で探す、見つける」力を養えるようサポートしてほしい。

【金沢 ちかこ委員】

- ・PC、ソフトの統一により、授業効率が向上。学生の作品には各学科の個性が表れており、プレゼンテーション能力も向上していると感じた。
- ・インテリアデザイナー協会と学生との交流など、今後進めていきたい。

【田中 由之委員】

- ・補習課題への補習料徴収や資格試験支援の重要性を認識。就職後の現実を理解させる指導も必要と感じた。
- ・退学率について、精神的な問題もあるため、難しさも感じる。
- ・行政の仕事では積算士の資格が必要とされている。積算士が減少しているため、学生にはぜひ取得を目指してほしい。
- ・建築学科の建築設備コースを開講しなかったことに関して、入学前に、定員が満たない場合はコースを開講しない可能性があることを説明しておく必要がある。
- ・作品について、クオリティーの高い作品が多く、学生の熱意を強く感じた。
- ・構造模型を活用し、壁量計算や構造の基礎についても教えてほしい。

【中島 征治職員】（質問）

- ・卒業生の活躍について教えていただきたい。

【田鍋 稔委員】（回答）

- ・熱意のある点が良いところです。しかし、オフィスがフリーアドレスになってから存在感が薄い。服装のオフィスカジュアル化など、若い世代と考え方に違いがあるように感じます。

	【田中 由之委員】(回答) ・卒業生である中堅職員は若手職員への指導に際して厳しい言葉遣いになることがあるものの、その点については本人も自覚しています。 ・最近入職した卒業生は大人しい性格ながら、仕事はしっかりとこなしています。今後の成長に期待しています。 【原 充介教務部長】 ・事務連絡 令和7年2月17日(水)、18日(木) 卒業制作発表会 令和7年2月19日(水) 第2回教育課程編成委員会 6. 閉会の辞 中島職員が閉会の宣言を行い、第1回教育課程編成委員会が終了した。 ■配付資料一覧 ・令和6年度 第1回教育課程編成委員会 次第 ・令和6年度 教育基本方針 ・令和6年度 建築系の運営について ・DIPLOMA2024 卒業作品集・活動報告 ・令和5年度学校関係者評価書 以上
--	--